

「わが村は美しくー北海道」運動

北海道開発局では、道内各地での住民主体の地域活性化活動を支援し、農山漁村の発展に寄与することを目的に、「わが村は美しくー北海道」運動を推進しており、この運動の一環として平成13年から2年に一度コンクールを開催し、平成30年は第9回コンクールが開催され釧路ブロックの応募団体より、優秀賞等が決定しました。



第9回コンクール応募団体のご紹介（釧路ブロック）



優秀賞 歯舞地区マリビジョン協議会
(根室市)

将来の漁業振興と観光振興構想である「歯舞地区マリビジョン計画」に基づき多様な取り組みを展開しています。「地域にあるものを掘り起こし特性を生かす」ことで歯舞水産物の商品化によるブランド化を進めており、それを中心に位置付けた、漁業振興として、歯舞地区の紹介パンフレットを作成し、観光客の誘致活動から漁民泊や漁業体験、クルージング（バードウォッチング）等を通じた交流人口の増加による地域の活性化に向けて関係者が一丸となって継続的に取り組み、活気のある漁村づくりを推進しています。



市場の競り見学の様子



バードウォッチング



優秀賞 北海道中標津農業高等学校
マネージメント研究班（中標津町）

生徒が「地域にできることをしたい」という意見から始まった「食育活動」は、地域産業である酪農業に興味を持ち、食へのありがたみと感謝の心をもった子供達を育てるために、計根別地域の幼稚園、義務教育学校と連携を図り、全ての子供達を対象とした食農教育を展開しています。また、地域住民の「小さな地区に大きなイベントを」という声に応え、地域全体をハロウィンカボチャで飾りつける「計根別景観UP大作戦」を実施し、このカボチャ栽培には、地域内の耕作放棄畑を使用して、農地の有効利用と景観整備にもつながる活動となっています。



計根別景観UP作戦始動



カボチャランタン



優秀賞 NPO法人 美しい村・鶴居村観光協会
(鶴居村)

丹頂や釧路湿原、酪農景観など豊かな観光資源がある鶴居村で、「暮らすように旅をするー農村でのんびり過ごす」住んでいる人との交流をする長期滞在型の新しい旅のスタイル「鶴居村版農泊」(2600人の小さな村で暮らす旅)を確立しています。地域住民と連携を図りながら、牧歌的な景観が広がる農村地域の産業や文化を活かし、温泉、フットパス、サイクリング、酪農体験、ハーブを生かした体験・商品開発など地域に根ざした観光コンテンツを構築しています。



都市農村交流会の様子



自然ガイドツアーの様子

奨励賞

一般社団法人 音別ふき蕎団（釧路市）

蕎栽培は、堆肥を投入し無農薬を目指していることから、雑草の除去などに人手が掛るため、釧路市の生活相談センターから「就労準備支援事業」の一部事業を受託して、音別の知的障害者施設、セーフティネットの対象となる方々、高齢者の方々などの雇用の創出に繋がっています。また、蕎のレシピ紹介、佃煮の復元、蕎の葉の抽出液の活用など、様々な形で蕎を発信しています。



手作業による雑草除去作業



アジエソバ

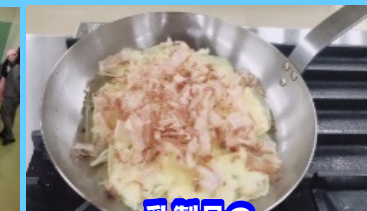
審査委員会賞

別海町女性農業士会（別海町）

農家生活の改善や農村文化の向上を図るため、女性農業士が地域発展のリーダー的役割を果たし、景観づくりの実践、乳製品を使用したレシピのパンフレット化など地域の活性化に取り組んでいます。また、町内でも農業に触れあう機会が少ない漁業地域の小学校へ毎年訪れ、酪農の講演と牛乳豆腐の実習など出前授業を行い、農業を認識してもらう活動をしています。



出前授業の様子



乳製品のレシピを提案